



令和元年（2019年）6月4日（火）

広島市安佐動物公園 活性化担当課長：木下

担当：企画広報係 佐藤、嶋田 ☎082-838-1111



アカハライモリ

## ガマ探

### ～ビオトープで生きもの観察～



ミナミメダカ

安佐動物公園では、カエルなど水辺の生きものを自由に観察できるように園内に整備している「ビオトープ」で、生きものの生態や特徴について職員が解説する観察会を開催します。

今回は、通年観察できるミナミメダカやアカハライモリに加えて、春から初夏にしか観察できないニホンヒキガエル（通称ガマガエル）についても取り上げます。

#### 1 日時

令和元年6月9日（日） ※少雨決行

10時～、13時30分～（各回1時間）

#### 2 場所

安佐動物公園 ビオトープ

（ミーアキャット前）

#### 3 対象

当日の入園者



ビオトープの全景

#### ※安佐動物公園のビオトープについて

近年、田んぼをはじめとする水辺環境では、宅地開発やコンクリート化などによって、その環境が大きく変化し、古くからそこに適応してきた水辺の生きものの生息が難しくなり、数を減らしています。また、市民が水辺の生きものを知ったり、観察したりする機会も減ってきています。

そこで当園では、カエルやメダカなど水辺の生きものの生息に配慮し、年間を通して観察できるよう「ビオトープ」を園内に整備しています。このビオトープでは、年間を通してミナミメダカやアカハライモリなどを、季節によりニホンヒキガエル、シュレーゲルアオガエル、水生昆虫などを観察することができます。



ニホンヒキガエル（左下の矢印は子ガエル）

**開園時間** 午前9時から午後4時30分まで（ただし、入園は午後4時まで）

**入園料** 大人510円、65歳以上・小人（高校生及び高校生相当年齢）170円 ※中学生以下無料  
※65歳以上の適用には公的証明書が必要

**休園日** 毎週木曜日（ただし、祝日の場合は開園）